

▼平田院長プロフィール  
大分上野丘高校から川崎  
医科大へ進学。昭和六十二  
年に同大を卒業後、大分医  
科大（現大分大医学部）第  
二外科へ入局。国立長崎中  
央病院、大分中村病院、厚



早期胃がんに適した治療  
の一つに、「内視鏡治療」が  
あります。内視鏡治療は、  
現在の胃がんの治療法の中  
で、体への負担が最も少な  
い治療法です。

「内視鏡治療」は早期が  
んを対象にした治療法です。  
お腹を切らずに治療が出来る  
ので体への負担が非常に  
少なく、また、軽い麻酔を  
かけて行われるので痛みも  
最小限ですみます。ガンの  
大きさにもよりますが、治  
療にかかる時間は一時間程  
度です。

#### 【内視鏡治療の注意点】

おなかを切らずに行う内  
視鏡治療も、手術の一種で  
すから、特殊な技術が必要  
とされます。場合によって  
は治療中に出血したりせん  
孔を起したりすることも  
稀にありますがあります。そ  
のような場合には開腹手術に  
切り替えることもあります

生連鶴見病院、宇佐胃腸病  
院外科医長、織部消化器科  
副院長などを経て、平成十  
四年七月に市内田尻、サン  
ライフトマト東側に胃腸科・  
肛門科・内科・外科診療の  
「ひらた医院」を開院。医  
学博士。日本外科学会専門  
医。日本消化器外科学会認  
定医。日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本大腸肛門病学会  
日本消化器内視鏡学  
会、日本消化器病学会、  
日本胃癌学会に  
所属。連絡は、ひら  
た医院（電話548・  
7616）へ。

ひらた医院  
院長 平田孝浩

HP <http://www.hirataiin.com/>  
E-mail: [info@hirataiin.com](mailto:info@hirataiin.com)

## お腹を切らずにがんをとる

が、多くは  
内視鏡を使  
つて出血を  
抑えたり、  
小さなせん  
孔の場合は  
胃の外側にあるリンパ節へ  
の転移がある人には適しま  
せん。

▽リンパ節への転移がな  
い  
▽内視鏡では胃の中にが  
んしか切除できませんので、  
胃の外側にあるリンパ節へ  
の転移がある人には適しま  
せん。

▽粘膜にとどまっている  
Ⅱガンの胃の粘膜にとどまっ  
ている早期がんが対象です。  
▽大きさが2cm以下Ⅱガ  
ンの大きさが2cmより大き  
いと、転移している可能性  
がたかくなります。

▽分化型Ⅱ胃がんは、ガ  
ン細胞の形や並み方から「分  
化型」と「未分化型」に分  
けることができます。転移  
の可能性が低い分化型の場  
合に内視鏡治療を行います。

【内視鏡治療を受けられ  
ない人】  
四つの条件を満たしても、  
治療が受けられない場合も  
あります。内視鏡で見つら  
ない人】

く治療が難しい場所にある  
がんは適応になりません。  
また、ガンの中に潰瘍や潰  
瘍の治った痕があると、切  
除した際にせん孔を起す  
危険性が高いため治療は受  
けられません。内視鏡で切  
除した部位に潰瘍ができる  
ため、ガンが胃の入り口出  
口付近にある場合は、潰瘍  
の傷あとで狭くならないよ  
うに治療は控えます。この  
ような理由から実際に内視  
鏡治療の対象になるのは、  
施設によって異なりますが、  
早期がんの患者さんの三割  
程度です。

胃がんの内視鏡治療は、  
開腹手術と同様に入院して  
行われますが、入院期間は  
開腹手術よりも短くてす  
みます。開腹手術の場合は術  
後二週間〜一か月の入院が  
必要ですが、内視鏡治療の

場合は五〜七日程度ですむ  
ため、入院費用も比較的安  
くてすみます。  
早期に発見して早期に治  
療をすれば、体に受ける影  
響も少なく、生活状況を大

きく変化させることもあり  
ません。  
早期発見・早期治療は大  
変重要です。定期的な検査  
を受けることをお勧めしま  
す。